

## 8-4-43 照査特別WG

### 1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「品質委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で24年目となる。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様・類似のエラー発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知る」ことを目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層を対象に実施した。

令和5年度のセミナープログラムは、品質委員会による活動概要・契約不適合の発生状況等の説明、品質向上専門委員会による各企業の品質確保・向上のための取組みを自治体と高評価業務の事例も含め紹介、照査特別WGからはエラー事例の技術的分析と改善策として道路、橋梁、鉄道、土質・地質、港湾、河川、砂防・急傾斜の7分野での事例紹介とその解説を実施した。

#### (1) 照査特別WGの構成

令和5年度は技術部会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、11月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

#### (2) 照査特別WGの開催

WG開催：6回（4～9月）

セミナー講師全体リハーサル：1回（9月）

#### (3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例は各支部での収集活動を継続するとともに、本部専門委員会でも収集し、新規に168事例を追加した。新規事例も含め、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ令和5年度版のセミナーテキスト『エラー防止のために参考資料』（2,468事例、全1,493ページ、ダウンロード配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成し、セミナー開催後は会員ホームページへの掲載も行った。

また、改定された「詳細設計照査要領」の適

用性の確認や各専門委員会が独自に作成した詳細設計照査要領(案)、チェックシートを更新し、配布した。

表. 令和5年度 品質セミナープログラム

① 品質委員会の活動概要と契約不適合の発生状況	
② 国土交通省の品質確保対策への対応	
③ 高評価業務の品質確保と向上への取り組み	
④エラーの技術的分析と改善策	(1) 道路/トンネル
	(2) 橋梁
	(3) 鉄道
	(4) 土質・地質
	(5) 港湾
	(6) 河川構造物
	(7) 砂防・急傾斜

#### (4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「品質委員会/品質セミナー～品質の確保・向上に向けて～」を11月にオンラインセミナー（ビデオ配信）にて開催した。

参加者数（全体）は、1,967名となり、ビデオ配信を開始した令和2年以降、減少傾向にあったが、過去2番目の人数となった。

アンケート結果からは、今後も改善の余地はあるが発注者も含めて内容等への評価は総じて高く、オンラインでの継続を望む声が多かった。なお、配信期間延長の要望が多くあるため、今後検討予定である。

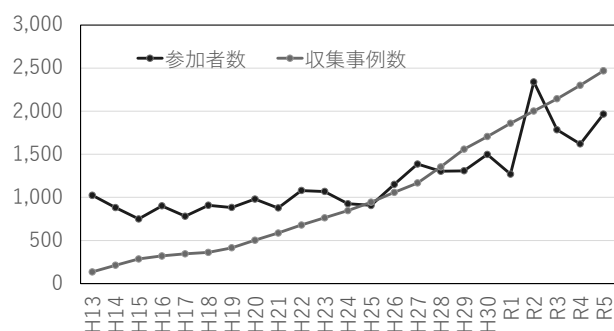


図. 参加者数及び事例収集状況の経年変化

### 2. 次年度の活動について

令和6年度も引き続き品質セミナーを開催する予定である。内容の企画については、令和5年度のアンケート等を踏まえ、更に満足度が向上するよう全国各支部や本部専門委員会の協力を得ながら、品質委員会、照査特別WG等で検討する。

(照査特別WG WG長 田中 智)